

令和7年9月1日 2学期 始業式

おはようございます。一人一人夏休みの思い出がたくさんできたことと思います。

今日は、「伝統」の話をします。今日話す「伝統」は、学校という集団の中で、古くから受け継がれてきた習慣や考え方のことを指します。どんな話だったか、友達に説明できるように、頭の中でメモを取りながら聞きましょう。

はじめに、中村中学校の伝統の話です。

中村中学校の3年生は、1学期に修学旅行に行きました。中村中学校の修学旅行では、40年以上受け継がれていることがあります。それは、比叡山延暦寺根本中堂（こんぽんちゅうどう）の掃除をしていることです。住職さんのお話では、延暦寺にお勤めしている人で、中村中学校の掃除＝無言清掃のことを知らない人はいないそうです。例えば、校長先生が旅行で延暦寺に行って、無言清掃の中村中学校を知っていますか？と聞いたら、みんなが「知っています」と答えてくれると言うことです。長い間続く皆さんの先輩の無言清掃は、遠い場所でも「よい伝統」として知られているのです。

次に、中村小学校の伝統の話です。

あいさつ運動と無言清掃・無言集合の二つは、中村小学校の伝統です。あいさつ運動は、中村小が、中村南小、中村東小と統合する前から長い間続いている伝統です。では、無言清掃・無言集合はいつから始まったのでしょうか。

学校のことが分かる本に、初めて「無言清掃・無言集合」の言葉が出てくるのは、平成30年（8年前）です。まだまだ、新しい伝統です。8年前の教頭先生は、掃除の時間になると、「無言清掃」を持って歩いて、毎日呼び掛けたんだよと話していました。今は、この紙がなくても、みんな「当たり前」に無言清掃・無言集合をします。みんなが、伝統を受け継いでいるからです。

そして、8年前の無言集合のはじまりのように、伝統の「はじまり」はどこかに必ずあります。校長先生は、1学期に、6年生と5年生が一分前着席への取り組む姿を見て、これは、伝統の「はじまり」ではないかと思いました。

2学期は、あいさつ運動、無言清掃・無言集合に加え、一分前着席を意識して行動しましょう。この3つが「当たり前」にできると、運動会・遠足、修学旅行などの学校行事がより一層楽しく行えます。どうして、楽しくなるのかは、この後クラスで考えてみましょう。これで、校長先生の話は終わりです。